

川の声

肝属川情報紙第 65号
平成 26 年 12 月発行

国土交通省 大隅河川国道事務所

TEL.0994-65-2541

<http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/>

園児のみなさんと、魚の救出作戦を行いました。

始良川合流点では、古くなった護岸を新しく作り直す工事を行っています。鉄の板で護岸を囲んで水を干しあげて工事を行うことから、中に入っている魚は、逃げ遅れて死んでしまいます。このため、みずほ保育園（始良町）の園児さんと一緒に、今年10月30日に取り残された魚（コイ・フナ・エビ・ウナギなど）を川に戻す救出作戦を行いました。初めは、慎重だった園児たちも後には楽しそうに魚をさわっていました。この体験は、子供達の良い記憶に残ったと思います。魚救出作戦を企画頂いた山佐産業の皆さん有り難うございました。



魚の救出



小学生のみなさんと、鹿屋分水路の見学会を実施しました。

【鹿屋分水路の建設】

鹿屋分水路は、昭和51年6月洪水で鹿屋市街地の至る所で川が壊れ被害が出たことから、川が狭い鹿屋市街地区間をバイパスするため建設されました。（平成12年完成）



鹿屋市
：昭和51年6月洪水

鹿屋分水路空中写真

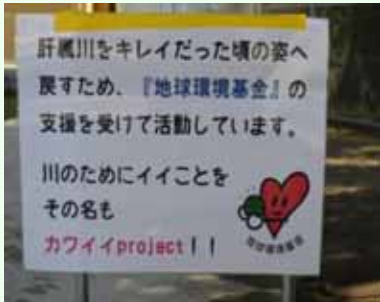


鹿屋小学校のみなさんと、今年11月20日に、鹿屋分水路の見学会を行いました。みなさんは、自分の家のそばにある事は知ってはいましたが、その中に入るのは初めての事でした。見学では、分水路トンネルの大きさ、また建物の下を通っていることにびっくりしていました。



「川にいいことを！！その名も～カワイproject」が実施されました。

平成26年10月25日(土)、肝属川において地元のNPO法人かのやコミュニティ放送(以下:FMかのや)主催による河川清掃が行われました。



FMかのやは、「ワーストから抜け出そう! ~目指せ! クリーンな肝属川~カワイproject」と題し、肝属川の水質改善を主な目的として、清掃活動や水質調査等を行っています。

今回は第2回目の活動で、近隣の中学生や高校生を中心に総勢180名ほどの参加者があり、川の中の水草除去、沿道のゴミ拾いや除草を行いました。

その中でも除去した水草はなんと10トンに及びました!!

1日あたりに家庭から排出されるCODに換算すると、なんと約20,000戸を超える量の汚濁源を除去したことになります。

活動時間の3時間があっという間に過ぎてしまうほど、みんなで楽しみながら肝属川をキレイにしました。

大隅河川国道事務所では、地域の川を綺麗にする想いを育てる活動を応援していきます。



・大隅河川国道事務所の職員も参加しました。

除去した区間の水草は、外来種で繁殖力が強く異常繁殖していました。このため、ゴミやヘドロ等が引っかかり水質の悪化や悪臭の元になると考えられます。また、川の流れも悪くなっていました。

堤防刈草の野焼きを実施しています。

大隅河川国道事務所では、洪水などで堤防が壊れていないか、崩れていないかを点検するために年間2回の除草を行っています。

除草後の刈草は、資源として有効利用するため、希望者へ無償配布を実施しています。

しかし、近年希望者が減少しており、残った刈草の飛散防止、放火等の防犯や害虫の発生を抑制するため、やむをえず10月より野焼きを実施しています。

近隣住民の方、また通行される方にはご迷惑をおかけしますが、野焼き場所や安全対策に十分留意して実施しますので、ご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

野焼きの実施状況



堤防刈草の提供について

堤防刈草の無償配布については、例年4月に募集しておりますが、追加の配布希望がありましたら下記まで問い合わせください。

大隅河川国道事務所 河川管理課 河川維持係
TEL 0994-65-2996

刈草の配布状況



～ 肝属川をきれいにしましょう～

BODは川の汚れを示す指標として用いられています

水の汚れを知る上でとても重要な目安として、水の中の有機物の量が挙げられます。有機物としては、例えばプランクトン（微生物）や家庭から出る汚れた水などあります。この有機物の量を表す数値としてBODが使われます。

BODは、生物化学的酸素要求量の略称で、微生物が汚れ（有機物）を食べるために使う酸素量に相当します。

肝属川の水質調査地点と環境基準（国管理区間）（図-1）



BODが高いと、なぜ問題なの？

川の生き物も酸素を吸って生きています。私たちが汚れた水（有機物）を川に流すと、それを食べている微生物たちが増えるので、たくさんの酸素が必要になります。すると、水の中の酸素が足りなくなり、魚たちが息ができにくくなり住めなくなります。その他臭いの原因にもつながります。

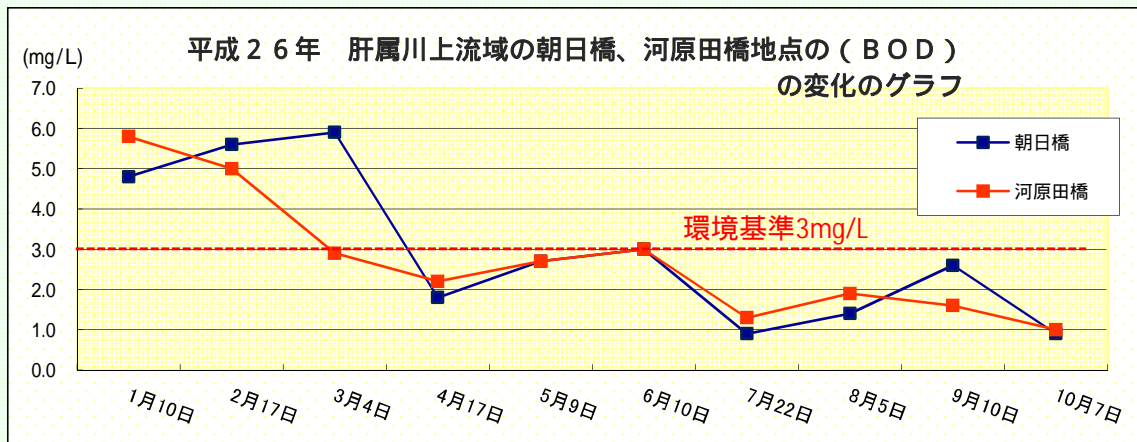
肝属川の生活環境に関わる水質の環境基準について

BODや大腸菌群数など5項目について、目標とすべき水質が定められています。

また、水域ごとに指定されており肝属川ではB類型（BOD 3 mg/L 以下）とA類型（BOD 2 mg/L 以下）に指定されています。（図-1）

なお、九州の一級河川では、概ねA類型とB類型に指定されてる状況にあります。

今年の肝属川のBODの変化(調査地点8地点)



肝属川の水質は、始良川や高山川は「きれい」にランクされ、肝属川は「汚い～普通」にランクされます。特に、肝属川上流の朝日橋や河原田橋地点の水質は目標とする環境基準前後で推移しており、水の少ない冬場などは、環境基準を守れない状態が続きます。

また、全国の河川と比較すると、河原田橋、朝日橋の水質は、ワーストランキング 59位、86位と喜ばしくない状態となっています。（平成25年の全国一級河川の観測地点931地点で観測されたデータでの比較）



・肝属川に排水される箇所



・雨が降った後の川の様子、茶色く濁っています。土の色ではないようです。